

BUSINESS REPORT 2014

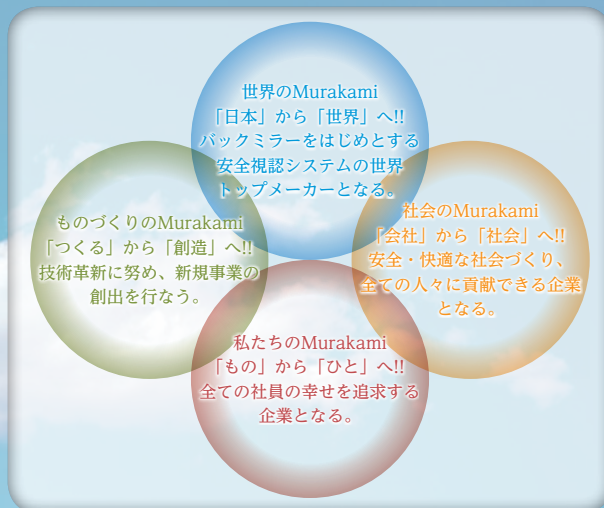
第**71**期報告書

2013年4月1日>>>2014年3月31日

株式会社村上開明堂

私たちは、社業を通じて 「人の役に立つ」村上開明堂を 目指します。

「もの」に込める“技術”と“思い”、
企業活動を通じて「絆」を結び、
社会に「幸せ」を提供し、輝く未来をつくります。



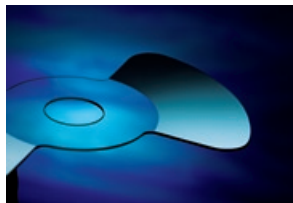
ミラーシステム事業

自動車用ドアミラーは、コンパクトなボディに薄膜・機構・電気系といった多様な技術で構成されています。この複合システムを一貫体制で自社開発・設計・生産している専門メーカーは世界でも稀で、当社はその先駆けといえます。ミラーに特化した専門技術と、次世代ミラーを実現する開発力で、国内の主要自動車メーカー各社から信頼をいただいています。近年では海外展開に注力しており、国内シェアNo.1から世界トップメーカーへの飛躍を目指しています。



オプトロニクス事業

高精度の光学薄膜技術をはじめ、ミラーシステム事業で培った多様な技術力を活かして、より幅広い分野にアプローチするオプトロニクス事業。OA機器に組み込まれる高反射ミラーや、映像機器に用いるダイクロイックミラー、自動車のヘッドアップディスプレイに組み込まれる曲面ガラスミラーなど、多様な機能を持つミラー・フィルター類を中心とした光学機器用部品の製造を行っています。ミラーシステムと同様、開発から生産までの一貫体制を強みとして、お客様の要望に合わせた柔軟な提案力で対応します。



その他事業

創業当時の事業の流れを汲む、ガラス建材を中心とした住宅関連事業を筆頭に、樹脂原料販売、物流・運送、人材派遣など、お客様のニーズに応じて多様な事業を関連会社で展開。これからも各事業のネットワークを拡充し、グローバルカンパニー・村上開明堂を支えていきます。



社長ごあいさつ

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜わり厚くお礼申し上げます。

さて、当社第71期（2013年4月1日から2014年3月31日まで）の事業の概況につきまして、ここにご報告申し上げます。

当期の経営成績

当連結会計年度におけるわが国経済は、経済対策の効果や円高の是正等により、緩やかながら回復基調で推移いたしました。

また世界経済では、中国をはじめとした新興国での経済成長が鈍化する一方、米国経済は景気回復が続いており、欧州では信用不安リスクが一服したことなどから、全体としては堅調に推移いたしました。

主要取引先であります自動車業界においては、国内生産は、経済の回復や消費税増税前の駆け込み需要もあり、堅調に推移いたしました。また、海外においても、北米市場や新興国市場での自動車の需要が引き続き前年を上回る結果となりました。

このような状況下において当社グループは、グローバル市場での事業拡大に総力を挙げて取り組むとともに、生産性の向上、原価低減及び経費削減の活動を推進し、企業体質の強化を図ってまいりました。

以上の結果、当連結会計年度の売上高は62,108百万円となり、前連結会計年度に比べて2,146百万円（3.6%）の増加となりました。

また、経常利益は5,509百万円となり、前連結会計年度に比べて313百万円（6.0%）の増加、当期純利益は3,462百万円となり、前連結会計年度に比べて521百万円（13.1%）の減少となりました。なお、前連結会計年度に

おいては、タイ国での洪水被害に関わる受取保険金（1,292百万円）を特別利益として計上しております。

期末配当金につきましては、1株につき10円とさせていただきます。この結果、年間配当金は1株につき18円となります。

次期の見通し

次期の見通しにつきましては、国内では消費税引き上げ後の自動車販売数の減少が懸念され、海外においては米国での好調な自動車販売が見込まれる一方、新興国経済の成長鈍化による影響等、先行き不透明な状況が続くものと思われまます。

このような中で、当社グループは、経営戦略に基づいた諸施策を徹底且つ迅速に推進し、受注の確保と原価低減の推進により、売上高及び利益の確保に努めてまいります。

業績見通しにつきましては、売上高は62,200百万円、利益面につきましては、国内売上の減少や減価償却費の増加等を見込み、営業利益は4,700百万円、経常利益は5,000百万円、当期純利益は3,050百万円を予想しております。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

2014年6月



代表取締役社長 **村上太郎**

グローバルネットワーク

株式会社村上開明堂九州
株式会社村上開明堂コンフォーム
株式会社村上開明堂化成
株式会社村上開明堂精機
株式会社エイジー
株式会社村上エクスプレス
株式会社村上開明堂ビジネスサービス

日本

59%

アジア

27%

北米

14%



本社（静岡市）



藤枝工場（藤枝市）



Murakami Manufacturing U.S.A.Inc. (MMUS)



大井川工場（藤枝市）



築地工場（藤枝市）



嘉興村上汽車配件有限公司 (MIC)



村上開明堂(香港)有限公司 (MHK)



PT.Murakami Delloyd Indonesia (MDI)



Murakami Manufacturing Mexico, S.A. de C.V.
(完成予想図)



Murakami Manufacturing (Thailand) Co.,Ltd. (MMT)



MURAKAMI AMPAS (THAILAND) Co.,LTD. (MATCO)



Murakami Saikyu (Thailand) Co.,Ltd. (MST)



Murakami Corporation (Thailand) Ltd. (MCT)

日本

主力の自動車用バックミラーの販売数量が前年実績を下回った結果、売上高は36,627百万円となり、前連結会計年度に比べて2,690百万円（6.8%）の減少となりました。また、営業利益につきましては、生産効率化や原価低減活動等の合理化を推進いたしましたが、売上高の減少等により、3,253百万円と前連結会計年度に比べて332百万円（9.3%）の減少となりました。

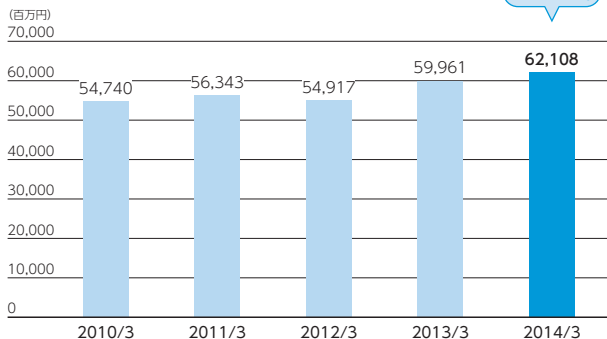
アジア

インドネシアの子会社「PT.Murakami Delloyd Indonesia」が新たに連結対象となったことや為替換算上の影響等により、売上高は16,609百万円となり、前連結会計年度に比べて1,809百万円（12.2%）の増加となりました。営業利益は、洪水被害のあったタイ国生産拠点が回復したこと等により1,202百万円となり、前連結会計年度に比べて250百万円（26.3%）の増加となりました。

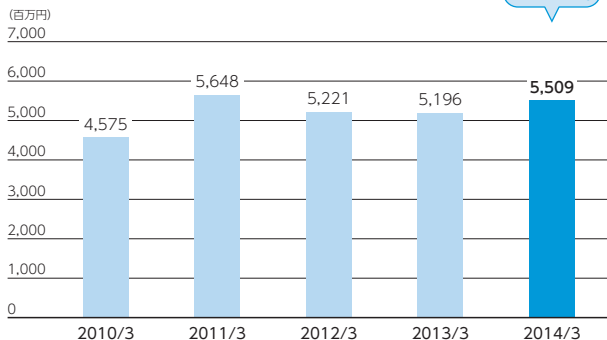
北米

経済政策の効果に伴う一般消費の回復や新車への買い替え需要の増加等により自動車生産台数が増加したことや、為替換算上の影響により、売上高は8,871百万円となり、前連結会計年度に比べて3,027百万円（51.8%）の増加となりました。営業利益は売上高の増加や合理化施策の効果等により216百万円となり、前連結会計年度に比べて127百万円（141.7%）の増加となりました。

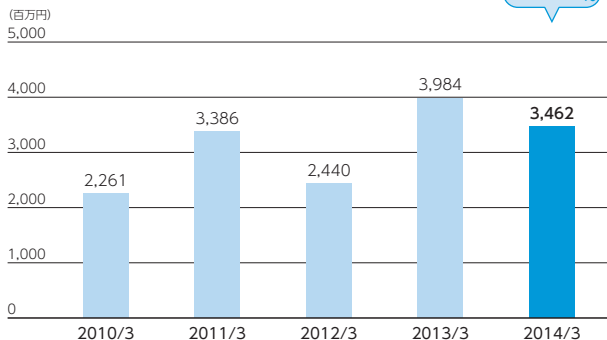
売上高



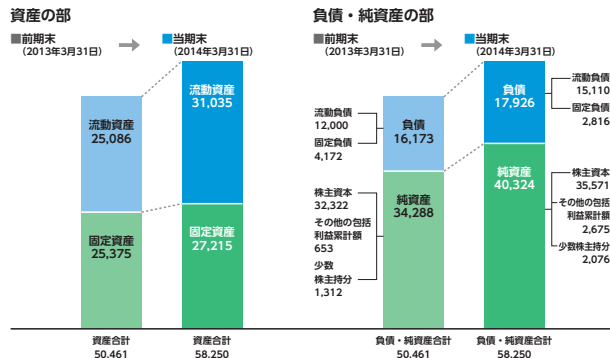
経常利益



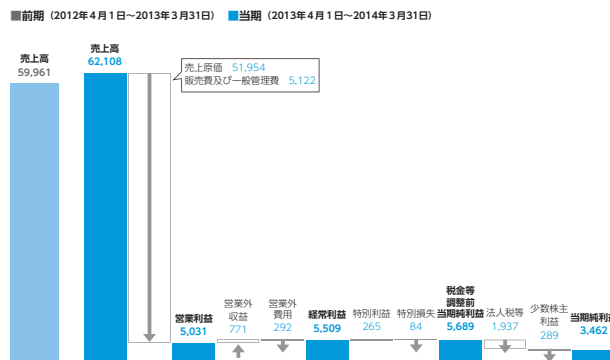
当期純利益



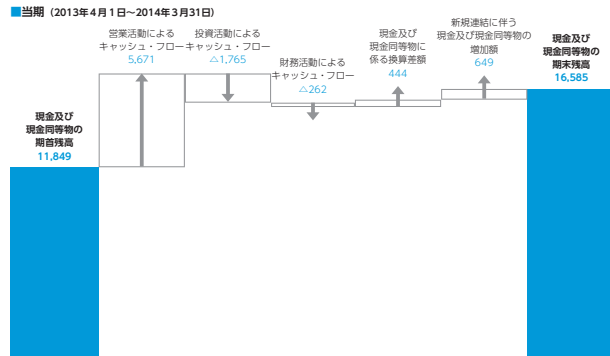
連結貸借対照表 (百万円)



連結損益計算書 (百万円)



連結キャッシュ・フロー計算書 (百万円)



会社の概要

商号 株式会社村上開明堂
 設立 昭和23年3月27日
 資本金 3,165,445,000円
 発行済株式総数 13,100,000株
 事業内容 自動車用バックミラー、ファインガラスの製造及び販売、外壁・硝子の施工、住宅リフォーム
 従業員数 連結：2,710名 単体：922名

役員 (2014年6月27日現在)

取締役

取締役社長 (代表取締役) 村上 太郎
 専務取締役 富野 文夫
 常務取締役 吉村 勝行
 取締役相談役 村上 英二
 取締役 望月 義人
 取締役 奥野 雅治

監査役

監査役 (常勤) 増井 邦夫
 ※監査役 小室 太郎
 ※監査役 齋藤 安彦
 ※監査役 神谷 聡一郎
 ※監査役 石橋 三洋

(注) ※印の監査役は、会社法第2条第16号に定める社外監査役であります。

執行役員

常務執行役員 豊長 敬治
 常務執行役員 鈴木 敏雄
 常務執行役員 池谷 道雄
 常務執行役員 沖本 美敏
 執行役員 菊地 俊明
 執行役員 長谷川 猛
 執行役員 マイケル ローデナーグ

主要な営業所及び工場

本社：静岡県静岡市
 工場：藤枝工場（静岡県藤枝市）
 大井川工場（静岡県藤枝市）
 築地工場（静岡県藤枝市）

関係会社

国内

株式会社村上開明堂九州
 株式会社村上開明堂コンフォーム
 株式会社村上開明堂化成
 株式会社村上開明堂精機
 株式会社エイジー
 株式会社村上エクスプレス
 株式会社村上開明堂ビジネスサービス

海外

Murakami Manufacturing U.S.A.Inc.
 嘉興村上汽車配件有限公司
 Murakami Manufacturing(Thailand)Co.,Ltd.
 MURAKAMI AMPAS(THAILAND)CO.,LTD.
 村上開明堂（香港）有限公司
 Murakami Saikyū(Thailand)Co.,Ltd.
 PT.Murakami Delloyd Indonesia
 Murakami Corporation(Thailand)Ltd.
 Murakami Manufacturing Mexico, S.A. de C.V.

株式情報

発行可能株式総数…………… 29,900,000株
 発行済株式の総数…………… 13,100,000株
 株主…………… 856名

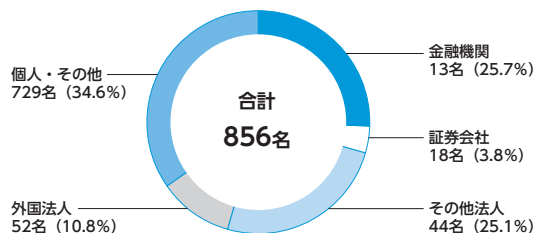
大株主

株主名	持株数(千株)	出資比率(%)
株式会社豊英社	1,230	9.5
村上太郎	1,042	8.0
村上英二	1,004	7.7
ビービーエイチ フォー ファイデリティ ロー プライズド ストック フアンド (プリンシパル オール セクター サポートフォリオ)	784	6.0
旭硝子株式会社	739	5.7
株式会社三菱東京UFJ銀行	624	4.8
株式会社静岡中島屋ホテルチェーン	460	3.5
株式会社静岡銀行	459	3.5
明治安田生命保険相互会社	447	3.4
立花証券株式会社	416	3.2

(注) 1. 表示単位未満を切り捨てて表示しております。
 2. 出資比率は、自己株式166,953株を控除して計算しております。

株式分布状況

所有者別



株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで

定時株主総会 毎年6月開催

基準日 定時株主総会の議決権 3月31日

期末配当金 3月31日

中間配当金 9月30日

その他必要があるときは、あらかじめ公告いたします。

公告の方法 電子公告の方法により、当社ホームページに掲載いたします。

<http://www.murakami-kaimeido.co.jp/usIr/koukoku>

ただし、電子公告によることができない事故その他やむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載いたします。

株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号

三井住友信託銀行株式会社

特別口座の 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号

口座管理機関 三井住友信託銀行株式会社

郵便物送付先 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号

(電話照会先) 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

電話 0120-782-031 (フリーダイヤル)

取次事務は、三井住友信託銀行株式会社の本店及び全国各支店で行っております。



見やすいユニバーサルデザイン
フォントを採用しています。

